

あなたも大障教へ

さまざまなとりくみに誘い合っご参加を



大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

大障教は大阪の障害児教育をより発展させていくため
みなさんの加入を心よりお待ちしております！

新年度がスタートして約3週間がたちました。新規採用者のみなさんにとっては毎日緊張の連続で、そろそろ疲れも出るころではないでしょうか。ベテラン・中堅の先生方も、新たに担任した子どもたちのための教材準備や年度初めに集中するさまざまな仕事に追われ、忙しくお過ごしのことと思います。

大障教大阪府立障害児学校教職員組合は、府立支援学校における教育条件整備と教職員の労働条件の改善、障害者福祉の充実などを大きな柱として、2018年度も運動をすすめていきます。

新年度にあたり、大障教のとりくみへの引き続いてのご協力をお願いいたします。また、この機会にひとりでも多くの教職員のみなさんが組合員として、私たちの運動に参加していただくことを、心から呼びかけます。

新転任歓迎行事にぜひご参加ください

5月18日(金)には、大阪府教育会館たかつガーデンを会場に、新転任歓迎実技講座「つながりあそび」をおこないます。講師には、「ピカリン」の愛称で知られる二本松はじめさんをお招きしています。二本松さんの講座は、教室ですぐに使える歌や

あそびを身につけられるだけでなく、知らない間に心が温かくなり、子どもたちをもつとやさしい目で見たいと思える内容が魅力です。

職場で幅広く声をかけて、お早めにお申し込みください。ほかに、青年部主催の新歓バレーボール大会を計画

教員採用選考学習会

大阪教職員組合が後援する「めざそう」仲間とともに、な

にわの教員採用選考学習会(略称「めざとも」)が今年も5月19日(土)に大阪府立労働センター(エルおおさか)を会場におこなわれ、6月9日(土)と6月23日(土)には大阪府教育会館を会場におこなわれます。この「めざとも」は、ともに励まし合いながら

お得な全教共済(大教済)にもご加入を

教職員組合は、職場の仲間がさまざまな願いを持ち寄ってつながり合い、みんなで語り合い学び合う活動をする組



昨年度の「つながりあそび」の様子

しています。今年は4月21日(土)に交野支援学校四條畷校、4月28日(土)に堺聴覚支援学校で開催されます。職場内外での親睦をより深めるためにも、ふるってご参加ください。

「めざとも」

合格をめざそう」と2006年から始まったとりくみです。

採用選考を受けるメンバーや正規採用された「めざとも」卒業生などで実行委員会をつくり、いろいろな思いやアイデアを出し合っ、学習会の準備をすすめています。すでに、各職場の分会宛てに「申し込みはがき」のついた案内をお送りしていますが、お手元がない場合は、お近くの組合役員の方まで気軽にお知らせください。

組織です。教育条件が少しでもよくなるように、教育予算の増額や障害児学校の建設などを求める活動に、父母や府民のみなさんと力を合わせてとりくんできました。

また、こうした活動と合わせて、教職員がお金を出し合い、仲間同士で助け合っ「共済」の仕組みを自主的につくり、その運用もおこなっています。大障教が扱う「全教共済(大教済)」は、組合員でない方も気軽に加入できます。特に、月々600円の掛金で、結婚・出産時などに給付が受けられ、退職時には掛金が全額戻ってくる「総合共済」は、新規採用者のみなさんにもおすすめです。まずは、新歓行事や職場のとりくみなどに参加して、組合のことを知ってください。その上で多くの教職員のみなさんに、大障教に加入していただけることを願っております。

大障教執行委員長 戸田勝浩

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



日本のアニメ界を代表する高畑勲監督が亡くなりました。東大卒業後、1959年に東映動画に入社、監督としてのデビュー作となった『太陽の王子ホルスの大冒険』(1968年)で、社会的テーマや深い心理描写、生活と労働の喜びなどを追究し、アニメーションでは不可能と思われていた表現に果敢に挑みました。

『アルプスの少女ハイジ』(74年)の演出にあたっては、登場人物や生活環境を身近に感じられるよう日常を丁寧な描写、当時のテレビアニメでは珍しかった海外ロケも行いました。「あぶつたチーズがトロリととろける」、ただそれだけのシーンが、放送から44年を経た今でも、思いつきの名場面として語り継がれています。

スタジオジブリを設立後の代表作の一つ『火垂るの墓』(88年)では、戦時下を必死に生きる兄と妹を描き、戦争末期の悲惨を描きました。しかし、高畑さんは、映画人九条の会結成集会で行った記念講演(2004年11月)の中で、「こういう映画は真の『反戦』たりえない、と思いつけてきました」と述べています。

その理由として高畑さんは、「戦争末期の悲惨さではなく、あの戦争の開戦時を思い出す必要があることを強調されました。それまで戦争に懐疑的だった人々が戦争が始まってしまった以上、あとは日本が勝つことを願っしかないじゃないか」とこぞって権力者に協力しはじめ、ほとんどの人が知性や理性を眠らせてしまった。そうしなければもう手遅れだといっのです。

9条改憲の国会発議が狙われている今、高畑さんのこうした平和への強い思いを、重く受け止めてほしいものです。

新歓昼食会に32人!



新転任のみなさんと楽しいひととき!

新しい仲間を迎え、

各分会での趣向を凝らした新歓のとりくみ(その1)

交野支援学校四條畷校分会



歓迎昼食会には分会員がほぼ全員集まりました

四條畷校分会ではここ数年、年度末と年度初めに集まりをもっています。

まず3月26日、お昼の休憩時間を利用して恒例の年度末分会集会を行いました。今回もお休みの人を除くほぼ全員が集まりました。

まず、定年退職される先生へ、組合員として定年を迎えられた尊敬と感謝とねぎらいの気持ちを含めてみんなから花束を渡した後、分会ニュースを使って今回

歓迎昼食会は3年連続のとりくみ

出された「府教委案」について報告をしました。そのあとは、いつものように「ひとり一言」で順に発言しました。特に初任や若い先生から新鮮な、また子どもについての熱い思いが語られるとも頼もしく感じました。

新年度のとりくみとして

は、分会役員会で新転任者歓迎の準備をしてきました。

4月2日の辞令交付式には、分会から昨年度の初任2人が会場の大阪国際交流センターまでお迎えに出向きました。会うことができなかった方も学校の最寄駅で合流することができ、3人の新規採用者全員と一緒に

楽しくおしゃべりしながら

学校までご案内しました。

4月3日の昼休みには、新規採用を含む8人の新転任のみなさんと組合員24人(当日新たな組合員加入がありました!)の参加で、新歓昼食会を行いました。四條畷校分会としては、3回目の新転任歓迎昼食会で、今年もたくさんの方のみなさんに

に集まっていたいただき、本当

につれしく思いました。

歓迎昼食会は大島分会長のあいさつから始まり、新転任のみなさんと組合員が入り混じっての自己紹介が続きました。今年の抱負を織り込んだ自己紹介はとても楽しく、アットホームな雰囲気です。

新しい職場でのスタート、

そしてまた新たな子どもたちを迎え、新たな学校生活をスタートと、いろんな想いを交流することができました。短い時間ではありましたが、2018年度のスタートとして、とても良いとりくみができたなあと思いました。

(四條畷校分会 鈴木浩司)

沖縄の学習会を開きました!

3月21日に青年教職員のための実践力アップ講座の第3回目として、「沖縄について・沖縄を通して考える学習会」をたかつガーデンで開催しました。大障教の青年教職員だけでなく、大教組障教部の青年も参加し、アットホームな雰囲気の中で沖縄について学習しました。今回の学習会では、「ゆいま〜る(沖縄平和ツアー)」に参加した青年に、実際に見学した戦跡や基地、すぐ近くの上空を飛ぶオスプレイ、辺野古の様子などを、写真を交えて伝えていただきました。戦跡の写真からは当時の戦闘の激しさや悲惨さが、基地の写真からは日常生活の中に基地がある様子がまざまざと伝わってきました。また、普天間基地の騒音問題やヘリコプターの不時着、墜落などについても詳しく教えていただき、沖縄の問題を身近に感じることができました。

障教部の青年からは、原水禁大会やゆいま〜るに参加した経験を通じて、授業で平和教育に取り組んだ実践の報告がありました。「ちいちゃんのかげおくり」での子どもの学びが変わったり、原水禁やゆいま〜るで学んできたことを子どもたちに伝える中で、子どもたちが真剣に戦争について考える様子について聞くことができました。

沖縄に関する書籍紹介や沖縄の自治体の発行物などの紹介もあり、休憩時間には参加者が手に取り、盛り上がる一幕もありました。

交流では、参加者からたくさんの感想が出て、活発な意見交流になりました。実際に足を運び、見聞きした体験が生きた実践につながることを改めて実感しました。また、沖縄の問題は沖縄だけの問題ではなく、戦争は過去の話ではなく、今私たちの問題として考えなければならないと再確認しました。沖縄についての学習会は、今後も実施予定ですので、ぜひ興味のある方はご参加ください!

参加者の感想です!

- 沖縄の問題を身近に感じる事ができました。ニュースで時折見る程度の知識しかなかったのですが、実際に見聞きした方のお話を伺うと、実感がわきました。いつか自分も沖縄に行ってみたいなあと思いました!
- 「伝えたい」「もっと知りたい」を報告する人や聞いた人が持てたことがすごいと思った。やっぱり現地のパワーって大事だと思うし、「平和」というテーマが今だからこそ子どもにも大人にも大切だと感じた。報告お疲れ様でした~!
- 今日はありがとうございました。改めて沖縄のことを知ること、伝えることを大切にしないと、と思いました。大阪にいと薄れてしまうので、平和とは何ぞやということ問いながら学習していこうと思いました。